

## 富之尾保育園

富之尾保育園の子どもたちがよく遊びに行く「滝の宮遊歩道」は、付近に犬上川、滝、神社の森などがあり、自然の音やにおいを十分に感じられるフィールドです。その中で、自然物を活かしたプログラムをつくりました。

### 「あきのとおりみち」のプログラム

ウォークラリー形式で、遊歩道の5カ所に設置したクイズを解きながら歩きます。クイズは、いつもの散歩では気づかない、葉っぱ色の変化や葉っぱの赤ちゃん、ひっつきむしや木の実との出会いとなるような内容にします。このプログラムを通じて、秋は生き物にとって生命の準備につながる大切な時期であることを学びます。



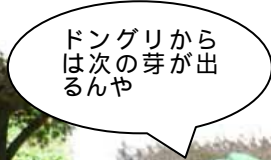
◀ 指導者が事前にクイズのカードをポイントへ設置する



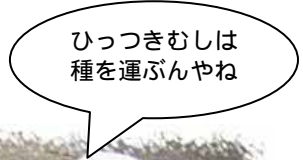
手より大きな葉っぱがあったで！



葉っぱの赤ちゃんはどれかな？



ドングリからは次の芽が出るんや



ひっつきむしは種を運ぶんやね

秋は生き物にとって生命をつなげていく時期だということを考える

### 「森の中におうちを作ろう」のプログラム

滝の森神社は大小いろいろな木がたくさんあります。その森の中で、自然物を使って家をつくることを通して、森の中にはさまざまな生き物が共存していることに気づくプログラムです。

りすのおうちをつくろう



リスのすべり台を作ろう！



土が柔らかいからトントンしたら木が立てられるよ。



リスにごちそうを作ってあげよう！

## 「滝の宮でビンゴ」のプログラム

森の中での自然の循環についてのお話を聞いてから、ビンゴカードに書かれた9つの葉っぱを見つけることにより、葉っぱは森で大切な役割をしていることに気づくプログラムです。



「ツルツルした葉っぱ」から探そうっと!

ビンゴカードには、触覚、視覚、嗅覚、想像力などを使って探せる物をバランス良く入れる  
(ツルツルした葉っぱ、細長い葉っぱ、動物のかたちの葉っぱなど)



まるい葉っぱを見つけたよ!



グループ活動では「ふりかえり」での分かち合いが重要

動物の形をした葉っぱを探すのが難しかった。

## 参加された先生方の

## 声

参加するまでは、一つの遊びをここまで深く話し合っていていなかった。今後、園で取り組むときにも、準備段階での話し合いを充実させたい。

自分自身も発見があって楽しかったし、子どもたちにもメッセージが伝わっていくことがわかった。一緒に活動する大人が共感することで、より子どもたちの心に残っていくと思った。

「ふりかえり」や「異年齢の対応」、「家庭に帰ってからまでつなげる工夫」など深い部分まで話し合う研修はなかったので、今後につながるものとなった。

楽しむ場所が決まっている方がいろんな遊びができると思った。自然の中で遊ぶことにより、植物に命があることを実感した。

命の大切さ、自然の大切さを子どもたちに伝えることは難しいと思っていたが、自然の中での実体験では伝わりやすいことがわかった。子どもたちに伝えていきたい。

自分自身が思っていた以上に季節を感じる事ができた。この感動を、保育の中でも活かし、子どもたちの心に残るような保育をしていきたい。